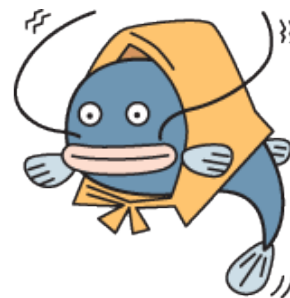


# 緊急地震速報 なまずきん



マンスリー レポート

2012年 7月号

発行元 株式会社 ハレックス



## 6月28日に緊急地震速報の訓練を実施 —内閣府・消防庁・気象庁—

緊急地震速報を見聞きしてから強い揺れが来るまでの時間はごくわずかであり、その短い間に、あわてずに身を守るなど適切な行動をとるためには日ごろからの訓練が重要です。

このことから、6月28日に全国的な訓練が実施され、気象庁は、国の機関や地方公共団体[全国瞬時警報システム（J-ALERT）経由]で行われる本訓練を支援するため、訓練用の緊急地震速報を配信しました。なお、今回の訓練では、気象庁から配信事業者・予報業務許可事業者への訓練用の緊急地震速報の配信はありませんでした。

訓練実施機関は、次のとおりでした。

- (1) 全国瞬時警報システム（J-ALERT）を運用する地方公共団体の一部
  - ・ 防災行政無線による放送を実施する地方公共団体 (153団体)
  - ・ 庁舎内放送を実施する地方公共団体 (89団体)
  - ※防災行政無線、庁舎内放送共に実施 (10団体)
  - ・ その他の放送（コミュニティFM）等を実施する地方公共団体 (13団体)

上記は6月15日現在までに確認できた団体数です。

その他、防災担当部署での訓練やJ-ALERT機器の動作確認のみを行う団体等があり、これらを合わせると約1400団体になります。

- (2) 中央省庁の一部  
内閣官房、内閣府、総務省、消防庁、財務省、農林水産省、経済産業省、特許庁、国土交通省、海上保安庁、国土地理院、環境省（合同庁舎4号館）
- (3) 気象庁本庁及び管区气象台等の地方官署

（内閣府・消防庁・気象庁報道発表資料より）

### “なまずきんの”訓練機能

“なまずきん”を用いて訓練を行う場合2通りの方法があります。1つは、ハレックスから各ユーザー個別に訓練報を発信する方法で、ご要望があれば疑似電文を送信することができますのでご相談ください。2つ目は、端末のコンソール画面から緊急地震速報を再現する方法です。

<コンソール画面>

- ① [履歴] 過去に発生した地震のデータを利用し再現
- ② [テスト] 任意のデータを入力し再現

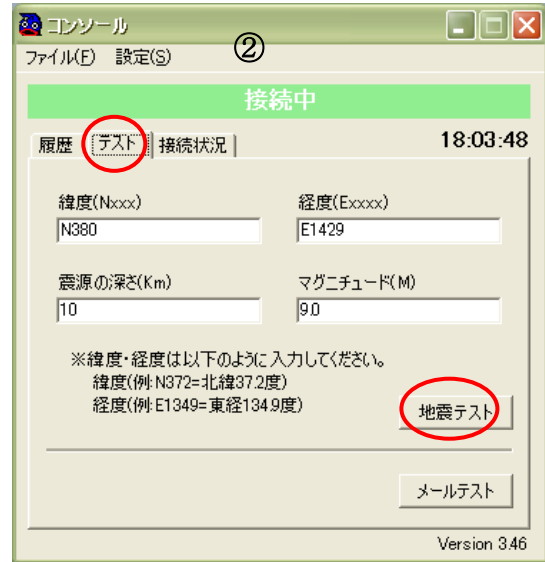
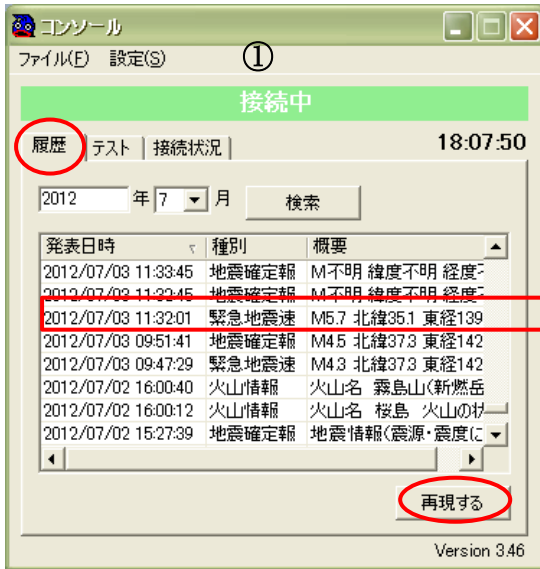
テストによる再現中は、情報表示画面が緊急地震速報受信時と異なり、表示画面左上の情報種別の後に（テスト）と表示され、背景画面が「TEST模様」になります。

音声及び警報機は実際に緊急地震速報を受信したときと同様です。なお、再現中に緊急地震速報を受信した場合は、受信した緊急地震速報画面を最前面に表示します。

■誤操作防止

再現を実行すると、接続されている警報装置（接点装置）や放送設備など他のシステムと連動している外部装置も動作します。『誤報』『誤動作』を防止するため、誤報防止を促す確認画面（コンソール画面の接続状況）を設けています。

外部装置との接続を「断」にする等、十分にご注意ください。



～～～ なまずきんの働き（2012年6月） ～～～

【発信数等概要】

6月に緊急地震速報（警報）が発表された地震の回数は3回（5月は1回）、緊急地震速報（予報）が発表された地震の回数は118回（5月は129回）でした。発信の総数は615通（5月は686通）でした（第1図）。緊急地震速報の予測震度4以上と報じた地震の回数は9回（5月は3回）、予測震度3と報じた地震の回数は29回（5月は24回）でした（Table. 1、2）。また、緊急地震速報を発表した2011年1月以降の月別地震回数を第1図に示します。

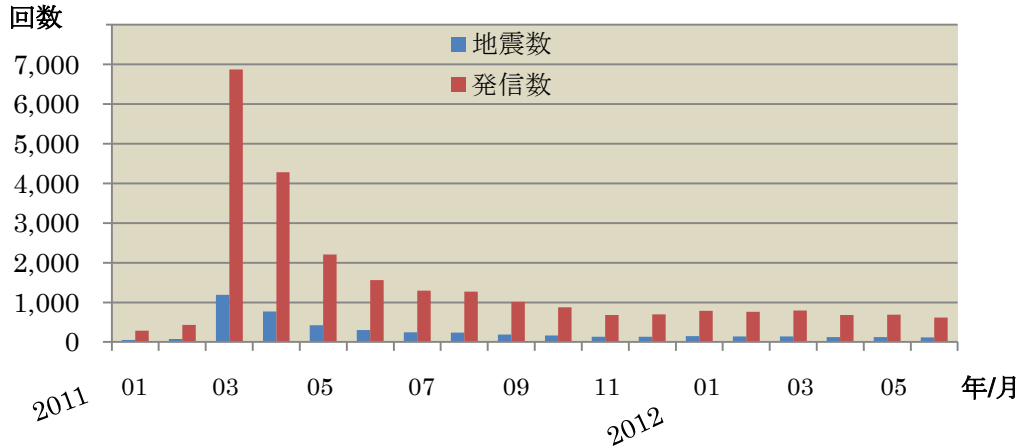
「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」の余震は、次第に低下しており、6月中に発生したM5.0以上の地震の回数は4回（5月は16回）、最大震度4以上を観測した地震は3回（5月は1回）でした。なお、余震回数（2011/03/11 14:46～2012/06/30 24:00、本震を除く）は、M7.0以上が6回、M6.0以上が105回、M5.0以上が691回となっています。

Table.1 緊急地震速報で最大震度が4以上と予測された地震及び警報発表回数（2012年6月1日～30日）

	予測震度4以上の発表回数	警報発表回数	
東北地方太平洋沖地震の余震	3回	2回	計3回
上記以外	6回	1回	
		計9回	

Table.2 緊急地震速報で最大震度が3と予測された地震（2012年6月1日～30日）

	予測震度3の発表回数
東北地方太平洋沖地震の余震	18回
上記以外	11回
	計29回

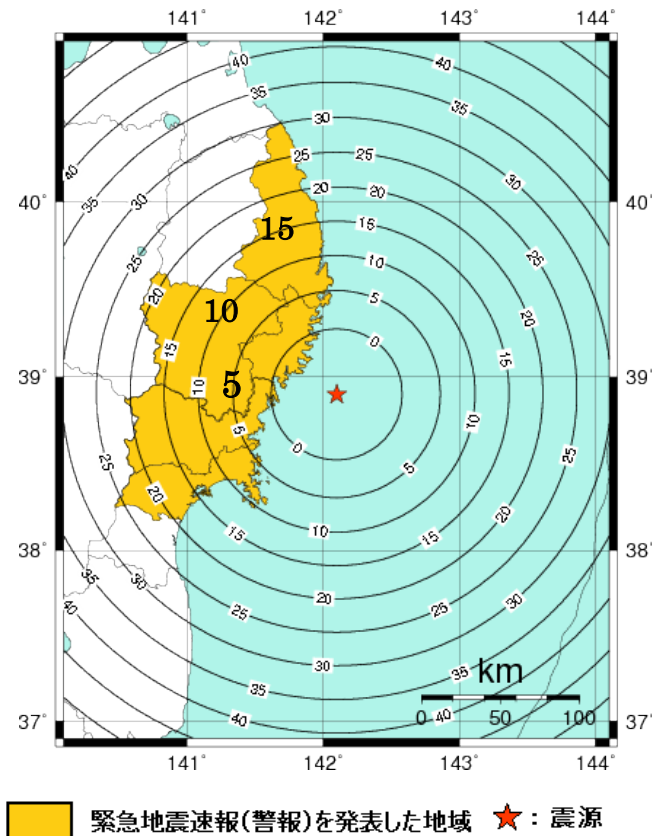


第1図 緊急地震速報を公表した地震の月別回数 (平成23年1月～平成24年6月)

【宮城県沖を震源とする地震】

6月18日05時32分に発生した宮城県沖を震源とする地震 (M6.1、深さ40km：精査後はM6.2、深さ47km) では、岩手県と宮城県で震度4を観測したほか、北海道から中部地方の一部にかけて震度3～1を観測しました。この地震による緊急地震速報 (予報) の第1報は、地震波検知から3.5秒後に、緊急地震速報 (警報) は5.8秒後の第3報で発表されました。なお、本地震で5弱程度を予想して緊急地震速報 (警報) が発表されましたが、実際に観測された最大震度は4でした。

第2図に、第1報提供から主要動到達までの時間及び緊急地震速報 (警報) が発表された地域を示します。震源に近い岩手県や宮城県の沿岸の一部では、発表から主要動到達まで1秒程度であったことを示します。緊急地震速報の詳しい発信状況をTable3に示します。



第2図 緊急地震速報の第1報提供から、主要動到達までの時間及び緊急地震速報 (警報) が発表された地域。岩手県や宮城県沿岸の一部では既に主要動が到達しています。

Table.3 緊急地震速報(警報)の発信状況 6月18日05時32分、宮城県沖)

(気象庁資料より)

(緊急地震速報(警報)は背景が灰色[第3報]の時に発表)

提供時刻等		震源要素等					
		地震波検知からの経過時間(秒)	震源要素				予測震度
			北緯	東経	深さ	マグニチュード	
地震波検知時刻	05時32分30.6秒	—	—	—	—	—	—
1	05時32分34.1秒	3.5	38.9	141.9	10km	6	※1
2	05時32分36.1秒	5.5	38.9	141.9	10km	5.4	※2
3	05時32分36.4秒	5.8	38.8	141.8	10km	6.1	※3
4	05時32分36.7秒	6.1	38.9	142.1	50km	6.3	※4
5	05時32分41.1秒	10.5	38.8	142.2	40km	6.3	※5
6	05時32分50.3秒	19.7	38.8	142.2	50km	6.3	※6
7	05時33分00.3秒	29.7	38.8	142.2	40km	6.3	※7
8	05時33分20.1秒	49.5	38.9	142.2	50km	6.3	※8
9	05時33分27.6秒	57	38.8	142.2	40km	6.3	※9
※1	震度5弱程度以上	岩手県沿岸南部					
	震度4程度以上	岩手県内陸南部、宮城県中部、岩手県沿岸北部、宮城県北部					
※2	震度4程度以上	岩手県沿岸南部、宮城県北部					
※3	震度5弱程度	宮城県北部					
	震度4から5弱程度	岩手県沿岸南部					
	震度4程度	岩手県内陸南部、岩手県沿岸北部、宮城県中部					
※4	震度4程度	宮城県北部、岩手県沿岸北部、宮城県中部、岩手県内陸南部、岩手県沿岸南部					
	震度3から4程度	宮城県南部					
※5	震度4程度	岩手県沿岸北部、岩手県内陸南部、岩手県沿岸南部、宮城県北部、宮城県中部					
	震度3から4程度	宮城県南部					
※6	震度4程度	岩手県沿岸南部、宮城県北部、宮城県中部、岩手県沿岸北部、岩手県内陸南部					
	震度3から4程度	宮城県南部					
※7	震度4程度	岩手県沿岸南部、宮城県北部、宮城県中部、岩手県沿岸北部、岩手県内陸南部					
	震度3から4程度	宮城県南部					
※8	震度4程度	岩手県沿岸南部、宮城県北部、岩手県沿岸北部、宮城県中部、岩手県内陸南部					
	震度3から4程度	宮城県南部					
※9	震度4程度	岩手県沿岸南部、宮城県北部、宮城県中部、岩手県沿岸北部、岩手県内陸南部					
	震度3から4程度	宮城県南部					